

ペンシルベニア州ピッツバーグ市・ロボティクス/AI視察ミッション

対象業種:ロボティクス/AI

<ポイント>

- 注目を集めるピッツバーグのロボティクス/AIエコシステム、研究施設に関する最新情報の効率的な収集が可能
- 世界最先端のカーネギーメロン大学によるコンピューターサイエンス/ロボティクス分野の取り組み紹介
- 一日でピッツバーグのロボティクス/AIエコシステムを巡るコンパクトなプログラム

5/13現在

ジェトロ・ニューヨーク事務所 作成

日	曜日	訪問地	時	スケジュール	朝	昼	夕
2022/6/23	木	ピッツバーグ市内	午前	ペンシルベニア州ピッツバーグ国際空港着	-	-	○
				各自移動、ホテルチェックイン			
			18:00	ウェルカム・レセプション(ピッツバーグ市内中心部を想定)			
			20:00	レセプション終了、ホテルへ			
2022/6/24	金	ピッツバーグ市内	8:45	集合場所: 推奨ホテルロビー集合・移動 Wyndham Grand Pittsburgh Downtown 住所: 600 COMMONWEALTH PLACE, PITTSBURGH, PA 15222	×	○	×
			9:00	研究開発ハブのMill 19訪問(ピッツバーグ地域のエコシステムやロボティクス・ネットワーク、ロボティクス/AI研究施設ARM(Advanced Robotics for Manufacturing)の概要説明、Mill 19視察など)			
			11:45	カーネギーメロン大学(コンピューターサイエンス/ロボティクス)の概要説明			
			12:30	昼食/移動			
			14:00	ドライビング・ツアー(Argo AI, Honeywell, Bosch, Denso, Aurora, Microsoft, Smith & Nephew, Carnegie Robotics, Caterpillar, Metaなどのロボティクス関連企業が並ぶ通りを車内から視察)			
			15:00	National Robotics Engineering Center(施設概要の紹介と視察)			
			17:00	推奨ホテル着、解散			

※視察予定先の企業または施設側の都合により、視察日程の変更または中止になる場合があります。

Mill 19

・第2次世界大戦中に軍需品生産のために建設され、戦後には圧延工場となったMill19は現在、元の建物の鉄骨をそのまま利用し、ロボティクスなどのイノベーションに焦点を当てた製造、研究、開発のハブとなっている。フェーズA部分は既に完成し、アドバンス・ロボティクス・フォー・マニュファクチュアリング(ARM)、カーネギーメロン大学のマニュファクチュアリング・フューチャー・インスティテュート(MFI)、カタリスト・コネクションが拠点を構えている。今年1月には、ジョー・バイデン大統領が訪問し、米国におけるサプライチェーン強化などの講演を行った。

カーネギーメロン大学

カーネギーメロン大学(CMU)には、世界最大級のロボット・インスティテュート(RI)がある。また、自律走行車のクラスターが極めて大きく、ウーバー、オーロラ、アルゴAIなども拠点を構えるピッツバーグで、過去10年間に、CMUIにつながるのある400社以上のスタートアップが、合計70億ドル以上の追従型資金を調達した。

National Robotics Engineering Center

・CMUロボット・インスティテュート(RI)の一部であるナショナル・ロボティクス・エンジニアリング・センター(NREC)では、政府や産業部門のクライアントと密接に協力しながら、ロボティクス技術のコンセプト作りから商業化に至る開発を行っている。NRECが手掛けるプロジェクトには、迅速な概念実証や、商業・ライセンス用知的財産権を伴う試作品の開発および試験などが含まれる。

推奨フライト

特定の推奨フライトはございません。6月23日(木)の午後までにピッツバーグ市内に到着される便にてお越しください。

推奨ホテル

ピッツバーグ市内
(6/23、1泊)

Wyndham Grand Pittsburgh Downtown

住所: 600 COMMONWEALTH PLACE, PITTSBURGH, PA 15222
URL: <https://www.wyndhamgrandpittsburgh.com/>